

12月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日（定例会号）、1月1日（新年号）に発行します。
次回は2月定例会が開催予定です。



いちかわ

市議会だより

2021年（令和3年）第247号

2月13日（土）

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡 1-1-1 ☎ 334-1111
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/154100002.html>



令和2年度未完了に向け整備が進む市川漁港（令和2年12月中旬撮影）（右上）完成イメージ図

12月定例会

コロナ対応補正予算案など可決 中核市移行などについて各会派が代表質問

市議会は、令和2年12月定例会を11月27日から12月10日まで開催しました。

12月定例会では、市長から提出された市川市稲越町の区域における住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定、市川市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正、市川市一般会計補正予算（第8号）、市川市文化会館舞台設備等改修工事請負契約についてなどの議案20件と報告4件を一括議題として8会派が代表質問を行いました。代表質問では、質問を行った各会派が、令和2年9月定例会で市長が表明した中核市移行について質問しました。

議員からは、不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書の提出についてなどの議案7件が提出されました。その他、請願の審査や、19人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案をいずれも原案通り可決しました。議員提出議案については、提出された7件のうち、条例案1件、意見書案3件を可決、決議案3件を否決しました。その他、請願3件を不採択、1件を継続審査としました。

（代表質問は2～4面、一般質問は5～7面、審議結果一覧は8面に掲載）

市川市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

市議会は12月定例会で、昨今の厳しい経済状況等を考慮し、議員の期末手当支給額を年間0.05カ月相当分引き下げる条例案を発議し、これを全会一致で可決しました。

また、市長から、人事院勧告等を踏まえ、一般職の職員及び市長等の期末手当を引き下げる条例案が提出され、同じく可決されました。

◆主な議案

○市川市稲越町の区域における住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

令和3年1月1日から稲越町の区域において住居表示が実施されることに伴い、同区域内の自転車等駐車場、小学校、特別支援学校及び放課後保育クラブの位置並びに消防署の管轄区域を改めるものです。

○市川市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

国府台デイサービスセンターについて、高齢者福祉サービスの更なる充実を図るため、民間事業者による運営を引き継ぐことから、公の施設としての供用を廃止するものです。

【主な質疑】

「今回の民営化によるメリットは何か」との質疑に対し、「施設の運営を行う予定の法人との協議を経て、今後は祝日もサービスを行えるようになる見込みが出てきたことである」との答弁がなされました。

○令和2年度市川市一般会計補正予算（第8号）

一般会計補正予算案は、歳出において、高齢者PCR検査経費、児童福祉施設等感染拡大防止対策経費などの新型コロナウイルス感染症への対応に係る経費をはじめ、特定不妊治療費交付金、地域コミュニティゾーン整備に係る経費など、歳入において、生活困窮者自立相談支援事業費等負担金、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金、医療機関等感染拡大防止等支援事業交付金など、それぞれ3億4,403万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ222億1,358万4千円とするものです。

【主な質疑】

感染症対策に係る費用について、「高齢者のPCR検査は、令和3年1月中旬頃から開始される予定とのことだが、開始までの期間が短い一方で、検査対象者は約6万5千人もいる。そこで、周知をどのように徹底するのか」との質疑に対し、「周知については、市公式ウェブサイトや広報いちかわをはじめ、自治会の回覧や掲示板等を通じて行う予定である」との答弁がなされました。

○市川市文化会館舞台設備等改修工事請負契約について

既定予算に基づく市川市文化会館舞台設備等改修工事について、一般競争入札の結果、落札者との間に工事請負契約を締結するため、議会の議決を求めるものです。

◆報告

12月定例会では、専決処分の報告4件がなされました。